

## 広島県中小企業団体中央会 2017年3月分情報連絡一覧表

### 食料品

#### ●食料品

##### 中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比13.4%増加、前年同月比3.3%増加、売上高は前月比8.2%増加、前年同月比1.8%減少となった。平成28年度は前期より出荷量は増加したが、スポット等での増加であり、既存の組合員の出荷量は減少している。

### 木材・木製品

#### ●木材・木製品

##### 福山木材協同組合

年度末は高操業であったが、今後の見通しは不透明である。

##### 広島県木材協同組合連合会

平成29年2月の全国の住宅着工戸数は70,912戸で、前年同月比2.6%減少、また、季節調整済年率換算値では94.0万戸（前月比6.1%減少）となった。利用関係別では、持家は21,322戸で前年同月比1.6%増加、貸家は30,842戸で前年同月比6.8%増加、分譲住宅は18,398戸で前年同月比17.9%減少となった。なお、木造住宅の着工数は39,587戸で、前年同月比2.5%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で8ヶ月振りの減少となっており、引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の2月の着工戸数は1,535戸で前年同月比7.2%増加、このうち、持家は451戸で前年同月比9.2%の増加、貸家は665戸で前年比4.7%減少、分譲は417戸で前年比32.4%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の消費税増税延期後の低金利の追い風による堅調な動きから減少傾向に転じ、厳しい経営環境にあるが、地域別では広島市が着工戸数845戸1.6%減少、東広島市が80戸で36.0%減少、呉市が57戸で9.5%減少となった一方で、福山市は319戸で108.5%増加、廿日市市は80戸で48.1%増加等と、地域間でばらつきが見られ、国内外の政治・経済動向の先行き不安や、中小企業、製材部門の小規模事業者など、会員、業態によって売上や収益等に偏りがある聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

### 印刷

#### ●出版・印刷・同関連

##### 広島県印刷工業組合

近年、後継者不足や高齢化に伴う廃業、合併が多く、組合員の減少が続いている。

### 化学・ゴム

#### ●工業用ゴム製品

##### 中国ゴム工業協同組合

業況に変化はない。下請法の厳格化や過重労働対策等への対応が求められる中、仕事の平準化をより一層進め、量への対応をする必要がある。原価低減も相まって、厳しい経営環境が続いている。

##### プラスチック製品製造業

##### 広島県プラスチック工業会

3月は年度末のため、自動車関連の売上は増加傾向にあった。その他は全体的に各社横ばい傾向にある。

### 窯業・土石製品

## ●窯業・土石製品

### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年3月 3,698m<sup>3</sup> (対前年0.7%減少)

29年2月 3,282m<sup>3</sup>

28年3月 3,724m<sup>3</sup>

平成28年度の出荷量は、旺盛な民需(マンション・商業施設等)に支えられ、前年比5.78%となった。

## 鉄鋼・金属製品

### ●鉄鋼業

#### 広島県鋳物工業協同組合

大手企業の採用増により、中小企業は人員確保に苦勞している。

## 一般機器

### ●一般機械器具

#### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は大口受注案件が減少したため、前月比5%増加、前年同月比20%減少となった。

#### 協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区のコンプレッサー、製鉄及びタイヤ機械は低操業である。

江波地区の航空機777Xの工場が完成し、操業が開始された。協力会社各社の操業は中操業である。

## 電気機器

### ●電気機械器具

#### 広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月の売上は前月比3%増加、前年同月比変化なしとなった。親会社からの要請により、今月のみ生産量が増加した。

しかし、国内外での受注状況は、横ばい傾向にある。

## 輸送用機器

### ●輸送用機械器具(自動車)

#### 東友会協同組合

3月の国内自動車販売台数は全需が691千台、前年同月比8.7%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比13.8%増加と8ヶ月連続の前年超え、軽自動車は0.2%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は28.3%増加と4ヶ月振りの前年超えとなった。

アメリカの2月の全需は1,334千台で前年同月比1.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同5.9%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

欧州の2月の全需は1,226千台で、前年同月比1.2%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は同5.1%減少と7ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の2月の全需は1,820千台で、前年同月比15.1%増加。マツダ車も同22.3%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の2月の海外販売合計台数は94千台、前年同月比2.3%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの2月の輸出動向については、輸出台数は前年比15.3%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比9.7%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

### ●輸送用機械器具（造船）

#### （社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

#### 中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年3月の船舶建造許可実績は5隻220,900総トン（前月4隻371,400総トン、前年同月4隻216,100総トン）であった。なお、このうち3隻は貨物船で2隻が油槽船となっており、全て輸出船となっている。

### ●輸送用機械器具（造船関連団地）

#### 呉鉄工業団地協同組合

仕事量の減少により、従業員も減少傾向にある。

### その他

### ●家具・装備品

#### 広島家具工業協同組合

特に変化はない。通常2月から3月初旬はデスクがピークとなるが、今期は厳しい状況である。デスクもシーズン商品から通年商品になりつつある。前年比5%減少程度の実績となる予想である。

### 卸売業

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合広島総合卸センター

4月に商工センター内に「LECT（レクト）」がオープンする。地区内では求人活動が活発化している影響か、団地内企業においては人手不足の声が聞こえてくる。中小企業は大企業に比べて人が集まりにくい。今後は雇用問題が徐々に表面化してくる可能性がある。

「資材関連」においては、官民工事は安定、資材関連は前年比増加で推移している企業が多い。景況感は好転してきている。

「食品」においては、概ね前年並みに推移している。

「繊維」においては、婦人下着は、寒い日が多く冬物の売れ行きが良かったが、本来売れるべき春夏物の出足を挫かれた感がある。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、長引いた寒さの影響もあり対前年比2%減少と苦戦している。

### ●卸売業（電設資材）

#### 広島県電設資材卸業協同組合

5月からの電気代の値上げを受け、今後益々省エネへの関心が高まることが予想され、我々業界は更なる省エネ提案を継続的に実施していく必要がある。

住宅分野では、ZEH住宅（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）への高機能省エネ機器の提案、非住宅分野では、税制優遇を活用し、省エネ設備提案等を推進していかなければならない。

### ●卸売業（畳・敷物）

#### 広島県藁製品商業協同組合

3月は、各地において展示会も頻繁に開催され、需要は上向きつつある。国産表の産地（熊本県）では、製織に活気が出て、卸店やエンドユーザーからの受注も増加している。春暖から、取引価格は強気横ばいの状況と見ている。

備後産表については、JAS畳表が主力で活気を呈している。製織も本格化し、輸入についても入用買いで推移している。価格は変わらず横ばいと見ている。

カラーバリエーションが豊富で、持ち運びの手軽さがうけ、JIS規格のパルプ表、化学表も需要を伸ばしている。

## 小売業

### ●各種商品小売業

#### チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

3月の売上は、前月比、前年同月比共減少した。販売面では、大型店舗の出店（特にディスカウントストア）、他業種（ドラッグストアやホームセンター）の食品販売による競争激化と客数の減少、取引面（商品供給）では、卸売業者の配送等の効率化優先で、我々零細小売店には商品が安定供給されない現実がある。このように販売面、取引面共に商業環境の変化が売上高の減少に大きく影響していると思われる。

#### 協同組合三次ショッピングセンター

競合店の進出により売上、客数の減少に歯止めがかからない状況が続いている。

### ●飲食料品小売業

#### 東広島食糧企業組合

仕入米価は上昇しているが、競争が激しく、販売米価は値上げできない。

### ●その他の小売業（燃料）

#### 広島県石油商業組合

売上は前月比微増。

月初は仕入価格の上昇により小売価格も上昇し、その後原油価格は下降気味である。為替が円高傾向になるも、仕入価格には反映されていない。年間を通じて安値量販店の廉売価格の影響により、収益状況を好転させる値付けができない。官公需においても同様である。安値量販店の乱売価格に悩まされており、安値の影響を及ぼす範囲は益々広がっていると思われる。

対前年比小売価格が10円/L近く上昇しているため、資金繰りに苦慮している事業者も多い。

雇用に関して募集しても人が集まらないため、人手不足が続いている。よって労働環境の改善も難しい。

ライフラインの一部である石油製品。災害時にはエネルギー供給の「最後の砦」とまで言われているにもかかわらず、大半の中小零細企業は上記のような要因で疲弊の一途をたどっている。全国津々浦々に及ぶネットワークの7割を占めているのは、1店舗のみ運営している中小零細企業の給油所である。もっともっと行政の関与が必要である。

## 商店街

### ●商店街（各種商品小売業）

#### 呉本通商店街振興組合

3月末、空店舗に居酒屋がオープンし、久しぶりに飲食店が新規開店した。また、新たに葬祭会館の建設工事が進んでおり、5月の開店に向け、準備中である。

住宅関連では、新たに賃貸住宅の新築計画があり、3月から古い建物の取り壊し工事が行われている。さらに、小型マンションの建築計画もあり、空き店舗2区画分の売約が成立している。

#### 広島金座街商店街振興組合

郊外的大型スーパーマーケットの影響等もあり、売上は対前年比減少傾向にある。

## サービス業

### ●自動車整備業

#### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月3.2%増加、前年同月比0.1%減少。車検場収入は前月比2.1%増加、前年同月比

0.6%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比23.1%増加、前年比2.4%の減少となっている。

平成28年度と27年度を比較すると車検台数は1.0%増加、車検場収入は1.9%増加、従量税・登録印紙は3.2%増加、手数料は0.5%増加となり、全ての指標において増加となった。

## ●広告業

### 広島県広告美術協同組合連合会

大型ショッピングセンターのオープンを控え、先月に引き続き一部組合員は多忙である。

業界では、他業種同様、地元企業(本社が広島)であっても、価格優先のため他県からの業者参入が多い。地元企業に発注する仕組み作りをお願いしたい。

## 建設業

## ●工事業

### 福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比5.1%減少、前年同月比47.4%減少となった。

太陽光発電設置申請は3月大きく減少した。

電力小売全面自由化がスタートし、3月末で1年が経過したが、多くは都市圏に集中している。しかし、大都市圏も飽和状態になりつつあり、今後は地方にも波及するものと見られ、施工体制の強化が求められる。

### 神辺建設業協同組合

建設各社は、公共機関の発注が先月同様、3月の年度末を向かえて減少しているため、民間需要の建設投資への受注にシフトしている。公共投資における新年度分での早期発注が望まれる。

### 広島県室内装飾事業協同組合

今月の売上は、壁装は前月に引き続きやや減少したが、3品目合計では前月比15.4%増加、前年比30.6%増加また累計前年比で3.4%と年度末需要により若干増加した。カーテンの微減を敷物と壁装でカバーした結果となった。

2, 3月は例年竣工が集中することと、西部地区や駅前商業施設等の大型案件が重なったため、人手不足が顕著となった。

## 運輸業

## ●道路貨物運送業

### 松永地区トラック事業協同組合

3月は期末ということもあり、荷主企業の業種に関係なく全体的に貨物輸送は好調に推移し、売上、収益ともに前月比増加となった。しかし、収益は昨年末から危惧していた軽油価格の上昇により、前年同月比増加には至らなかった。

3月中旬、経団連と連合が罰則付き時間外労働時間の上限を巡り「繁忙期は月100時間未満」で合意したと報道された。しかし、現在、自動車運転者には労働時間等の改善基準「改善基準公示」が定められており、今後さらにこの告示が改善され、拘束時間や運転時間が現在よりも削減されてしまうのではないかと不安視する声があがっている。

### 広島県ロジネット協同組合

3月の荷動きは前月に引き続き堅調に推移した。引越しシーズンに加え、決算月でもあり、中旬から下旬にかけて昨年より非常に忙しかったようである。一方で、車不足が続いており、確保に苦慮したようである。

一方、軽油価格は前月の2月より2円/L程度の値上がり傾向となっている。また、運転手の確保は非常に厳しく、単なる社員募集のチラシだけではなく、チラシでは伝えられない活気のある職場であることをPRするなど、組合員各社も人員確保に工夫をし、人手不足の解消を目指

している。

#### 広島輸送ターミナル協同組合

年度末のため、繁忙を予想していたが、それほど荷物は動いていないようである。

#### ●水運業

##### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

#### その他

#### ●不動産業

##### 広島県不動産評価システム協同組合

3月は公的評価(地価公示、相続税路線価評価)報酬の入金があったため、売上高、収益状況、資金繰り等は好転している。

前年同月比については特に変化はない。

地価が上昇基調にあるため、一般鑑定依頼(金融機関等からの依頼)がやや減少している。地価は2極化(都市部平地は上昇、山間部、島嶼部は下落傾向)している。